

令和3年度 我が校の学ぶ力向上策(実施計画)

【市町 目標】

○学校教育令和の四改革「マネジメント改革」  
 教科マネジメントやカリキュラム・マネジメントを通して、指導と評価の一体化をめざした授業づくりを行い、子どもの学ぶ力を向上させる。

【学校 目標】

○読み解き力、主体的に学びを深める力の育成      ○基礎基本(主に算数科)の定着  
 ○課題意識を持ち、粘り強く学ぶ子どもの育成

【現状と課題】

○全国学力・学習状況調査において、特に算数科への苦手意識や、基礎学力や有用性の実感に弱さがある。  
 ○課題意識を持ちながら学ぶ授業展開が十分でない。交流を通じて比較・検討・再構築する力を育成する授業改善に取り組む。  
 ○校内研究と学力向上策の連動が十分でない。算数科を中心にそれらを連動させ、PDCAサイクルを推進する。  
 ○国語科「思考力・判断力・表現力」の категорияで「読むこと」に分類される問題に課題が見られる。算数科において記述による解答を求められる問題に課題が見られる。学習の振り返りを充実させ、読解力と記述する力の向上を意識した授業改善を進めていく。

取 組		
視点1	視点2	視点3
学びを実感できる授業づくり	学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり	子どものために一丸となって取り組む学校づくり
<b>【取組事項】</b> ○「知りたい」「もっと学びたい」を高める「単元構想」の工夫 →新学習指導要領の評価に対応した単元構想シートの作成 ○一人一台のタブレットPCなど、ICT機器の効果的な活用 ○ <b>学んだことを整理し次時につなげられる学習の振り返りを充実</b>	<b>【取組事項】</b> ○子どもと教師、それぞれの「学びのスタンダード」の共通実践を進める。 ○学習環境と授業のユニバーサルデザイン化を推進する。 ○学習規律ある学級集団を構築し、交流を通じて比較・検討・再構築する力を育成する。	<b>【取組事項】</b> ○校内研究・教職員研修の充実→各学年で研究単元を実施 →単元終末を見据えた単元計画の実施 →G-OJT組織を生かした授業改善 ○家庭との連携や家庭学習サポーターの活用により自学自習の力を育成 ○朝学習(はげみタイム)の充実 →児童の課題を元にした計画的な取り組み実施 ○ <b>読書指導の充実と図書館活用の推進</b>

その他 取組事項

○漢字検定の取り組みを活用し、漢字の基礎的な力の向上  
 ○朝学習(はげみタイム)の計画的な取り組み

取組事項	
視点1	一人一台のタブレットPC等のICT機器の効果的な活用
視点2	「学び合い」の質を高める授業研究の推進
視点3	家庭学習強化週間の取り組みとサポーターの活用
その他	漢字検定の取り組みを活用し、漢字の基礎的な力の向上
その他	朝学習(はげみタイム)の計画的な取り組み

中期的な目標(3ヶ月後に獲得してほしい力)

①自らの学びを振り返り、整理し次時につなげる力②本に親しみ、図書館を積極的に活用する力

長期的な目標

①「確かに読み取る力」(読解力)「情報を整理し書きまとめる力」(記述する力)の向上